

2023年度 活動報告書



目次

●環境保全	2～6
清掃活動/特定外来植物駆除活動/森づくり活動	
●調査研究・政策提言	7
富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策事業など	
●富士山の日フォーラム・国際交流事業	8
●休眠預金等活用事業	9
●活動実績一覧	10
●寄付・支援一覧	11



清掃活動

【山梨県富士山クリーンアップ事業】

鳴沢村産業廃棄物大規模不法投棄現場での作業について、たくさんの企業・団体の方々にご協力いただき、廃棄物の撤去作業を行いました。24年度についても引き続き当現場での作業を実施します。

* 山梨県富士山クリーンアップ事業費補助金



文化シャッター株式会社の皆さま



株式会社オートボックスセブンの皆さま



パナソニックグループ労働組合連合会
(関東甲信越地区連合会)の皆さま

ぐるり富士山風景街道一周清掃 2023

2023年10月14日、企業・市民・自治体・官公庁等による実行団体ネットワークにより「ぐるり富士山風景街道一周清掃」を行いました。9回目となる今回も富士山クラブが実行委員会として、合計64名の参加により、国道138号富士吉田・河口湖IC付近の清掃活動を行いました。静岡県道の駅朝霧高原周辺での活動と併せ、山梨・静岡同日の一斉開催となりました。

* 関東地域づくり協会助成金



当日は中身の入ったペットボトル*にも注目された番組の取材も行われました。

(*ドライバーによる、し尿の入ったペットボトルの投棄)



トラック1台分、100キロ近くのごみの回収をすることができました。24年度も参加をお待ちしております。

【富士北麓清掃活動】

山梨県側富士山麓の清掃活動について、青木ヶ原樹海をメインとしたエリアにて、国道139号周辺を中心にパトロールと清掃活動を行っています。市街地での観光客のポイ捨ても、「オーバーツーリズム問題」が注目されるようになって解決に向けた動きが見られる中、市街地から外れた山林地域でのごみのポイ捨て事案については、また違った角度から解決を目指さなければならない問題です。



1回2時間ほどの活動で集めたごみの総重量は、1キロほどの徒歩圏内での「決して広いとは言えない作業区間」において、100kg近く回収することができます。また、毎年同じエリアで、継続して活動を行っていることから、年間のポイ捨てが減少していないことが分かります。

eバイクを活用した
ごみパトロールを実施しています



美しい桜の時期は
雑草が少なく見通しの
いい
ごみが目立つ季節でも
あります



東洋大学学生ボランティアの皆さまと

流通の軸となる幹線道路において、道路脇にたくさんのごみ捨てごみがあることを知っている方も多いかと思います。

街から離れた山林区間では、夜間は暗く人目もないので、ポイ捨てを誘発しやすいのかもしれない。行為者は観光客や訪日外国人ではなく、身近なわたしたちドライバーであり、ごみ問題の解決へは多角的な対策の必要性を感じます。

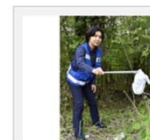


2023年は、富士山が世界文化遺産登録10周年の記念の節目であったことから、登録された6月はたくさんに関連イベントや、各メディア等による10年の振り返りが行われました。



ごみ削減対策 粘り強く～富士と生きる 世界遺産登録10年(5)

2023年5月29日 5時00分



清掃活動続けるNPO

「富士山やその周辺地域を美しく保ち、後世に残していくことが目標です」。11日の昼過ぎ、NPO法人富士山クラブ（富士河口湖町）の環境保全チームの一員、荒井みずきさん（48）＝富士吉田市＝は県外企業の新入社員30人に元気に声をかけていた。荒井さんや新入社員は約2時間、鳴沢村の歩道や路肩で、燃えるごみやペットボトル、空き缶など合計50

*取材については
富士山クラブホームページの
「フォトボックス」や
清掃関連事業の
「ごみゼロAIエコパトロール」
のリンクから主なメディア配信
について掲載しています。



スバルライン五合目外来種防除活動

活動実績2022～23年度、累計3回、46人

【富士急行株式会社 協賛事業】
【山梨県富士山科学研究所 受託事業】
【西松建設株式会社 生物多様性保全活動】



富士スバルライン五合目の駐車場及び展望台付近における国内外来種の植物（セイヨウタンポポやオオバコなど）の防除活動が継続2年目となりました。

専門家の指導のもと、毎年7種の植物の防除を行い、生育確認数の少ないものから集中的に防除、セイタカアワダチソウ、ギンギン属の防除が早期に完了できそうです。引き続きの観察が重要ですので、今後も富士山山体の貴重な生態系の保全に貢献できるよう、様々な生物の状況を観察しながら活動を継続し、併せて五合目事業者のみなさまや関係機関との情報共有にも努めます。

活動に際しては、世界遺産センターで事前学習会を行い、五合目ではお中道を散策し、富士山の自然を体全体で堪能いただき、1日学び楽しみながら富士山の環境保全に貢献できるプログラムを提供してまいります。

夏山登山シーズンの富士山では、シャトルバス乗車場や登山道入口などに、静岡山梨両県により防除マットが設置されています。麓では一般的な植物も、登山者や観光客の靴底等に付着して富士山体に持ち込まれ、条件が整えば爆発的な繁茂を招き、在来植物の生育を脅かす可能性もあるため、通行の際は防除マットで靴底の土を落とし、富士登山をお楽しみいただければと思います。



2022～23の防除対象植物：
オオバコ、ギンギン属、シロツメクサ、
セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、
バッコヤナギ、ヨモギ



登山道入口に設置された
防除マット



河口湖アレチウリー掃作戦

2013年の開始から10年目となり、河口湖に定着している特定外来生物アレチウリーは放置されることはなく、全域とはいかないまでも駆除活動が継続され、当初心配されていた広範囲にわたる爆発的繁茂が防止できていると実感できるようになりました。

また、アレチウリーの駆除に没頭し駆除重量の把握で終えるだけでなく、専門家のアドバイスをを受け、スマホで生育地点の位置情報を記録しながら活動するなど、現状を把握する試験的な取り組みもおこなっています。

実行委員会では、河口湖畔の各公園管理団体や漁協との情報共有や連携も進めており、抜き取りと刈り取りをそれぞれ効果的な時期に行い、地域一体となって湖畔の保全を考え実施する体制作りにも取り組んでいます。

今後の活動は、アレチウリーの生育が少ないエリアで集中して駆除を行い、範囲縮小を目指し、湖畔の生物観察もアクティビティとして取り入れ、アレチウリーのない河口湖の生態系保全、景観保全を参加者のみなさまと共に考え実現する活動の展開を描いています。



【山梨県外来生物防除事業費 補助金】
【河口湖アレチウリー掃作戦実行委員会 活動】

国道469号沿線 オオキンケイギク駆除

富士宮口登山道の近く、富士市と富士宮市を繋ぐ国道469号沿いを黄色く緑取る特定外来生物オオキンケイギクは、9月に1回、草抜き道具を使い、土を掘り根ごと抜き取る駆除方法で活動を実施しました。オオキンケイギクは多年草で、地下茎を伸ばして徐々に徐々に生育範囲を拡げていくことができるため、根ごと抜き取る駆除は効果が高く、逆に刈り取り等の方法で根を残してしまうと、翌年もまた同じ場所に出てきてしまいます。また、小さく平たい種子は土に紛れて衣服や靴底に付着しやすいため、活動後には軍手は回収、土落としマットで靴底をきれいにし、種子の拡散防止に努めています。

今後は年数回の活動実施を実現し、確実に生育範囲を縮小させることを目指しています。国道沿いとはいえ季節の野草が多く見られるため、これら野草の生育場所の保全のためにも、活動にご賛同いただける団体を募集しております。

【明治グループ労働組合連合会 環境保全ボランティア】



奥山の森づくり、里山の森づくり



富士山の中腹、標高約1,200m付近の西白塚を「奥山」エリア、麓の富士宮市北山地区及び栗倉地区を「里山」エリアと位置付け、それぞれの立地、環境、目的に合わせた森づくり活動を展開しています。

【COSMOエコ基金 助成金】

里山フィールド栗倉地区では、大学の講義やボランティア活動、企業のCSR・社員研修、児童施設の子どもの受入れ等を行いました。3年目を迎え環境教育プログラム実践の場としての展開も進んでいます。

北山地区でも2021年に締結した「しずおか未来の森サポーター」協定のもと、静岡県、地元企業とともに進める官民協働の森づくりを行っています（後述）。

奥山フィールド西白塚では、富士山の自然環境を体感できる立地を活かした観察ツアーも併せて、企業の社員研修や、富士宮市民の方を対象に同市との協働で開催しました。

子どもたちや若い世代をはじめ日常で自然に触れる機会の少ないみなさんに、体験を通じて森や自然の楽しさ・素晴らしさを知っていただくこと、そして守り育む心をもっていただくことも大きな目的の一つです。

【参加企業/団体（敬称略）】

(株)グローセル、プリモグローバルホールディングス(株)、J.P.モルガン、フィリップ モリス ジャパン、日本大学芸術学部、亜細亜大学国際関係学部、法政大学ボランティアセンター



しずおか未来の森づくりサポーター制度

アサヒ飲料の森



アサヒ飲料株式会社富士山工場のみなさんと協働で進める「植樹で終わらない森づくり」。年間を通じた森林整備の他、社員の方々へ向けた環境教育や体験の場としての運用等、森づくりの新たなモデルケースとしても展望しています。補植の際には富士宮市および住友林業(株)より資材提供をいただくといった地域ぐるみの活動ともなっています。



富士山のごみ持ち帰り向上キャンペーン 富士宮口登山道ごみ状況等調査



2023年の富士登山シーズンも行政との協働で開山期のごみ問題への取り組みを実施しました。静岡県からの委託事業として行う「富士山のごみ持ち帰りマナー向上キャンペーン」では、静岡県内の各五合目および交通要所の水ヶ塚公園にブースを設置し、ごみ持ち帰りの呼びかけとごみ袋の配布を行いました。シャトルバス内で野口理事長出演の啓発VTRが放映されるなど、新たな試みも実施しました。富士宮市からの委託事業として行う「富士宮口登山道状況調査」では、五合目から山頂に至るごみをはじめとした状況調査を計10回行いました。

登山者数をはじめとした当期の結果をみると、富士登山の状況はコロナ禍から従来にほぼ戻ったように思います。現場では、日本一の標高を誇る富士山に臨むにはあまりに軽装備な登山者が未だに多いこと、年々増加する外国人登山者の動向を背景に新たな危惧を感じるなど、富士山ならではの言うべき問題点も確認しました。

各位事業ともに開始当初から携わらせていただいている経験と成果を活かし、引き続き状況改善の取り組みに寄与出来ればと思います。

【静岡県富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策事業 受託事業】

【富士山富士宮口登山道ごみ状況調査等業務 受託事業】

富士山の日シンポジウム

【富士急行株式会社 協賛事業】
【富士河口湖町 協賛事業】



当クラブ主催の「富士山の日記念シンポジウム」は、2月23日午後1時から富士河口湖町の山梨県立富士山世界遺産センターで開催し、県内外から約40人の聴衆が訪れました。富士山が世界遺産に登録されて10周年の節目に当たることから、インバウンドによるごみのポイ捨て、街中や登山道にあふれる「オーバーツーリズム」など、新たな問題を取り上げるとともに、富士山をどう楽しみ、美しい自然をどう守っていくのかという視点から、立命館APUサステナビリティ観光学部のトマス・ジョーンズ教授と元富士山レンジャーで南アルプスの山小屋に勤務されている中島紫穂さん、当クラブ理事で富士山ネイチャーツアーズ代表の岩崎仁さんの3人がパネリストとして出演。それぞれの基調講演のあと、パネルディスカッションが行われ、オーバーツーリズムについての見解や、新しいツーリズムの姿について掘り下げた意見が交換されました。この模様は、富士山クラブのYou tubeで配信中です(右上にQRコードがあります)。

富士河口湖町国際交流プログラム 「オンラインアート交流」



富士河口湖町の委託国際交流事業として2023年11月26日、同町の山梨県立富士山世界遺産センターで「世界と日本を考えるつどい」を開催しました。戦火のウクライナから逃れ、山梨県に住むロジネットフスカ・ベロニカさんは、故郷・ヘルソンがロシアによる砲撃で破壊された動画を放映しながら報告。このあと訳者で沖縄出身者の世界的ネットワーク、WUBの事務局長を務める国吉真理子さんが英語通訳になったきっかけや、ノーベル平和賞を環境分野で初めて受賞したケニアのワンガリ・マータイさんとの出会いについて語ってくれました。

今年1月14日には、同センターで「楽しいアートプログラムを世界に発信しよう」を開催。笠井樹子先生による「自由な感性で楽しむアートセラピー」には、小学生と保護者の25人が参加。新年をテーマにした作画作りに挑戦しました。続く吉田チエ子先生による「押し花アートで富士山からメッセージ」では、30人の小学生父母が参加。カラフルな色や形の押し花の素材から、思い思いの発想で、魚が泳ぐ絵柄や森の妖精、お花畑、お祭りなどをテーマにした「童話のような押し花絵」作りに真剣なまなざしでチャレンジしました。



山梨県内で地域づくりや市民活動促進のために、休眠預金を活用、資金分配団体として、地域の社会課題の解決に取り組んでいます

当クラブが長野県みらい基金とコンソーシアムを組み、21年度から資金分配団体として3年間取り組んだ休眠預金等活用事業通常枠草の根支援「甲信地域支援と地域資源連携事業」が3月末に完了しました。資金分配団体として伴走支援した山梨県NPO3団体、長野県2団体は他の助成金獲得や政策提言が実現し、引き続き来年度も行政や関係機関と連携し、地域の子ども・若者支援活動を継続していきます。

また2月には原油価格・物価高騰、子育て及び新型コロナ対応支援枠「悩みや困難を抱えた子どもと家族のための地域連携支援プログラム」が採択され、当クラブは資金分配団体として、山梨県内で子どもや子育て分野で来年度に活動する実行団体を募集します。これからも行政や県内の支援組織（団体）と情報交換や連携をとりながら、地域の社会課題解決に取り組めます。

甲信地域支援と地域資源連携事業実行団体 (活動期間：21年4月～24年3月)

- NPO法人河原部社（山梨県）
事業名：ニラサキサラニ〜実践型若者プレイヤーズ育成プロジェクト〜
- 認定NPO法人スペースふう（山梨県）
事業名：リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業
- NPO法人bond place（山梨県）
事業名：社会的処方を目指した生態系モデル構築事業
- NPO法人こどもの未来をかんがえる会（長野県）
(八ヶ岳山麓食のまちづくりラボコンソーシアム幹事団体)
事業名：富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト
- 一般社団法人信州上田里山文化推進協会（長野県）
事業名：別所温泉 里山アグロフォレストリープロジェクト

通常枠：実行団体の5活動を動画で紹介

2023年9月にBS-TBS放送「長野・山梨 休眠預金活用事業 はじまりとつながりとひろがり」とで全国で紹介され、また各団体の活動はYouTubeサイトで公開しています。

NPO法人 河原部社



認定NPO法人 スペースふう



NPO法人 bond place



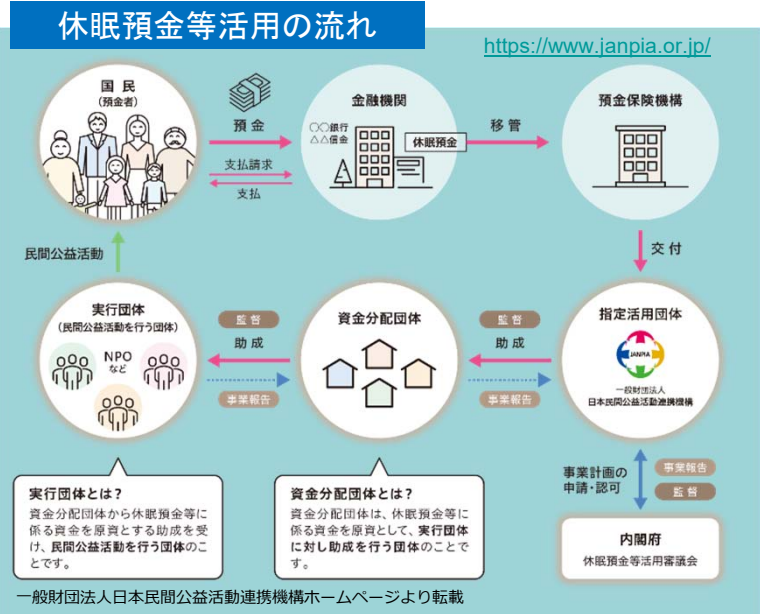
NPO法人 こどもの未来を考える会



一社) 信州上田里山文化推進協会



こちらのQRコードからWEBサイトでご覧いただけます



山梨県内実行団体を理事が視察、各団体スタッフの皆さんから活動について、お話をうかがいました

野口健理事長ほか6理事が、5月に河原部社（写真左）スペースふう（同中）、bond place（同右）を訪問、活動視察と担当スタッフの皆さんと事業の取り組みについて懇談しました。当クラブが伴走支援し、山梨県のこども・若者の課題解決のため、実行団体がやっている活動について、その意義や成果を知るよい機会となりました。



山梨日日新聞掲載

休眠預金活用事業のしくみ、当クラブがこの事業に取り組むことになったきっかけ、県内での活動、来年度実行団体募集を紹介しています。

こちらのQRコードから、新聞紙面をご覧ください。



山梨日日新聞2024年3月31日15面掲載許諾済



活動実績一覧

活動日	活動名	活動内容	人数	清掃成果 (kg)	駆除成果 (kg)
2023/04/27	(株)グローセル	森づくり	22		
2023/05/10	東洋大学オンライン講演	講演・WS	52		
2023/05/11	キヤノンCMJ新人研修	清掃	33	40	
2023/05/12	キヤノンCMJ新人研修	清掃	33	29.3	
2023/05/14	法政大学市ヶ谷ボランティアセンター	森づくり	44		
2023/05/17	プリモ・ジャパン(株)	清掃	24	80	
2023/05/17	プリモ・ジャパン(株)	森づくり	24		
2023/05/19	キヤノンCMJ新人研修	清掃	32	27.6	
2023/05/21	(株)ポーラ	清掃	23	60	
2023/05/22	立命館アジア太平洋大学環境学講座	講演・WS	50		
2023/05/28	亜細亜大学国際関係学部「体験から学ぶ地球環境論」	森づくり	50		
2023/05/28	亜細亜大学国際関係学部「体験から学ぶ地球環境論」	清掃	50	120	
2023/05/28	河口湖アレチウリー掃作戦/一万人の清掃活動	外来種駆除	93	28.4	13.5
2023/05/28	東洋大学清掃活動	清掃	52	92.6	
2023/06/02	ワタキューホールディングス新入社員研修	講演・WS	173		
2023/06/08	日本工営 オンライン講演	講演・WS	98		
2023/06/10	アプライド マテリアルズ ジャパン	清掃	26	250	
2023/06/14	早稲田大学国際学生寮WISH SIPプログラム	講演・WS	30		
2023/06/15	箕輪小学校トレッキング	トレッキング	62		
2023/06/15	セブンアンドアイグループ労組	講演・WS	25		
2023/06/16	セブンアンドアイグループ労組	清掃	25	一括処分	
2023/06/25	河口湖アレチウリー掃作戦2	外来種駆除	15	6.8	6.5
2023/07/08	定例清掃①焼間	清掃	7	一括処分	
2023/07/25	早稲田大学国際学生寮WISH SIPプログラム	講演・WS	50		
2023/07/27	SDGs学びと実践の会in山中湖	講演・WS	16		
2023/07/30	河口湖アレチウリー掃作戦3	外来種駆除	23		193.4
2023/08/01	東洋大学オンライン講演	講演・WS	51		
2023/08/1-5	早稲田大学国際学生寮WISH富士山研修	体験	9		
2023/08/05	富士川ラフティング・クリーンアップ活動	清掃	16	150	
2023/08/27	ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン	清掃	85	70	
2023/08/31	スパルライン五合目外来植物防除活動	外来種駆除	25		26.9
2023/09/04	東洋大学	清掃	51	137.6	
2023/09/09	PGU山梨・長野地区懇	清掃	48	一括処分	
2023/09/15	西松建設	外来種駆除	32		220.5
2023/09/15	西松建設	トレッキング	32		
2023/09/18	日本大学芸術学部	森づくり	25		
2023/09/23	明治グループ労働組合連合会	講演・WS	27		
2023/09/23	明治グループ労働組合連合会	外来種駆除	27	1.4	70.4
2023/09/24	河口湖アレチウリー掃作戦4	外来種駆除	12		0
2023/10/06	サムスンC&Tジャパン株式会社	清掃	40	一括処分	
2023/10/14	ぐるり富士山風景街道一周清掃実行委員会	清掃	63	80	
2023/10/15	法政大学ボランティアセンター	森づくり	43		
2023/10/19	一般社団法人日本リユース業協会	清掃	189	550	
2023/10/21	アサヒ飲料株式会社 富士山工場	森づくり	55		
2023/10/29	河口湖アレチウリー掃作戦5	外来種駆除	24	3.2	221
2023/11/12	富士山クリーンプロジェクト	清掃	88	5890	
2023/11/11	文化シャッター株式会社	清掃	48	一括処分	
2023/11/18	J.P.モルガン	清掃	27	160	
2023/11/18	J.P.モルガン	森づくり	27		
2023/11/18	オートバックスセブン	清掃	38	一括処分	
2023/11/19	三菱ふそうトラック・バス	清掃	44	350	
2023/11/25	阪急交通社	清掃	32	180	
2023/11/26	富士河口湖町国際交流	その他	20		
2023/12/03	自主活動	清掃	45	一括処分	
2023/12/06	フィリップ モリス ジャパン	森づくり	31		
2023/12/19	焼間地区ごみ処分		-	3475	
2024/01/14	富士河口湖町国際交流 午前の部	その他	24		
2024/01/14	富士河口湖町国際交流 午後の部	その他	30		
2024/01/27	7-11記念財団&静岡県 6R海岸清掃	清掃	188	120	
2024/02/04	北杜市生物多様性シンポジウム	講演・WS	100		
2024/02/17	アサヒ飲料株式会社 富士山工場	森づくり	30		
2024/02/23	富士山の日記念シンポジウム	その他	40		
		合計	2798人	11901.9kg	752.2kg

助成金

一般財団法人セブン-イレブン記念財団（パートナーシップ助成）
 COSMOエコ基金事務局（富士山の森を守るプロジェクト）
 一般社団法人関東地域づくり協会（ぐるり富士山風景街道一周清掃）
 一般財団法人民間公益活動連携機構（休眠預金等活用事業）

補助金

山梨県（富士山クリーンアップ事業費補助金、外来生物防除事業費補助金）

その他

静岡県（ふじさんネットワーク 環境保全活動応援金）

協賛金

株式会社毎日新聞社（富士山クラブ活動報告書、富士山クラブ通信）
 富士急行株式会社（富士山スバルライン外来生物防除活動、富士山の日フォーラム）
 富士河口湖町（富士山の日フォーラム）

寄附金

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（活動全般）
 株式会社丸紅フットウェア（活動全般）
 アビーム健康保険組合（活動全般）
 有限会社T.M.WORKS（活動全般）
 マックスバリュ富士宮万野原店 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（活動全般）
 林製紙株式会社（環境保全）
 イオンスタイル甲府昭和 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（活動全般）
 認定NPO法人さわやか青少年センター（環境保全）
 ニチレイマグネット株式会社（環境保全）
 株式会社電通 い・ろ・は・すキャンペーン（環境保全）
 JAMMINアイテム購入者一同（環境保全）
 丸和貿易株式会社（活動全般）

水と緑と命の基金

株式会社ツチヤ、有限会社富士山みはらし、富士レークホテル、プレステージ株式会社、
 魚亭かみや、株式会社富士急ハイランド 他個人からの寄附金45件 （敬称略）

美しい富士山を子どもたちに残していくために… ご支援お願いいたします

富士山クラブの活動は、皆さまの会費、ご寄付、ボランティア活動への参加、などによって運営を支えています。また、全国各地の店舗に富士山クラブの募金箱を設置いただきご支援をお送りいただいております。資金だけでなく、ごみ回収袋の提供や、活動に必要な道具、もりの学校の全照明を省エネ化など、さまざまな形でご支援を受けています。「これなら自分たちにもできる」「こんな活動なら支援したい」という声をぜひお寄せください。美しい富士山を子どもたちに残していくために、可能な範囲で、可能な方法で、ご協力いただければ、うれしい限りです。

富士山へのあなたの思いを、富士山クラブに託してご支援ください。

団体・個人会員へのご入会も随時受付しています。（正会員/賛助会員/学生会員）



富士山クラブの各活動を通じて、みんなでSDGsの達成を目指そう！



- 6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
- 6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。



- 11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
- 11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。



- 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
- 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。



- 14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。



- 15.5 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。
- 15.8 2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。



- 17.16 すべての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。
- 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

富士山クラブ 本部・もりの学校

〒401-0332
山梨県南都留郡富士河口湖町西湖2870
TEL : 0555-20-4600

富士山クラブ 静岡事務所

〒418-0111
静岡県富士宮市山宮3645-116
TEL&FAX : 0544-58-9120



富士山クラブ

検索

WEBサイト

